



まずは出席率を高めよう! (目標90%)

2013 - 2014年度 六甲部 EMC調査集計表

例会に友人をお誘いしよう!

2013-14年度期末 六甲部EMCスローガン: 一人が一人を連れて来よう!

六甲部EMC事業主査

小野 勅紘

クラブ名 (前期末実績)	クラブ在籍者 総数	出席率算定メンバ ー総数(除功労・広義)			当月例会出席者 総数(含メイクアップ)			内メイクアップ総数						当月例会年間			年間を通じたEMC (六甲部EMC事業主査)				
		4月	5月	6月	前期	後期	年間	前期	後期	年間	(自)	(他)	(自)	(他)	(自)	(他)		前期	後期	年間	
神戸	19	22	22	22	117	126	243	93	98	191	1	12	0	11	1	23	79.5%	77.8%	78.6%	今期は3名+1名(特別メネット)と順調 六甲部のリーディングクラブとして活躍 増員はないが、安定した出席率に例会 熱意が感じられる。さらに次期での着実 会員の増減はなかったが、出席率に不 全員で作る例会を工夫して意識の高揚 今期は着実な増員と積極的な例会への 部においては種節的、せっかく20名達 常に安定した増員と例会の工夫に努力 は更に飛躍的な躍進が期待される。 クラブ存続の危機で年度末の大幅なド った。ユースを中心とした進取の気持で後 安定したクラブ活動であったが、年度末 大幅なドロップは苦しい。出直しを期待 今期は3名の増と活躍された。この勢 強い例会活りを期待する。	
西宮	23	23	23	23	138	138	276	131	128	259	18	0	14	0	32	0	94.9%	92.8%	93.8%		
神戸西	13	13	13	13	78	78	156	52	37	89	0	0	0	0	0	0	67.9%	47.4%	57.1%		
神戸ポート	18	20	20	19	110	114	224	99	103	202	11	0	15	3	26	3	90.0%	90.4%	90.2%		
宝塚	24	24	24	23	138	142	280	108	112	220	8	3	12	1	20	4	78.3%	78.9%	78.6%		
さんだ	15	15	15	8	90	90	180	51	46	97	0	0	1	0	1	0	56.7%	51.1%	53.9%		
神戸学園都市	17	18	18	15	108	108	216	88	86	174	6	2	9	0	15	2	81.5%	79.6%	80.6%		
芦屋	16	19	19	18	105	108	213	90	93	183	6	1	14	0	20	1	85.7%	86.1%	85.9%		
合計	145	154	154	141	884	904	1788	712	703	1415	50	18	65	15	115	33	80.5%	77.8%	79.1%		年間累計

入会(転入会)目標・実績表

年間目標	22(11)人	年間実績	10(-4)人	期間目標	22(11)人	期間実績	10(-4)人
年間達成率	45.5%(-36.4%)		期間達成率		45.5%(-36.4%)		

退会(転出会)目標・実績表

年間目標	11人以下	年間実績	
年間達成率			127.3%

入会(転会)日	入会(転会)者名	スポンサー名	クラブ名	備考
2013年7月1日	田辺 征一さん	佐伯 一丸	神戸学園都市	鹿児島より転会
2013年7月11日	西澤 他喜衛さん	山崎 往夫	神戸ポート	
2013年8月21日	篠坂 幸彦さん	芦屋クラブ	芦屋	
2013年8月21日	富中 光成さん	芦屋クラブ	芦屋	
2013年8月21日	板東 幸子さん	芦屋クラブ	芦屋	
2013年10月8日	阪田 昌三さん	川崎 孝子	神戸	
2013年10月8日	中道 基夫さん	森章一・愛子	神戸	
2013年10月8日	山根 泉さん	城 純一	神戸	
2013年10月8日	齋藤 明子さん	森 愛子	神戸	特別メネット
2013年11月14日	大野 智恵さん	大野 勉	神戸ポート	メネットから転向
2014年3月12日	沢田 郁さん	杉谷 和代	宝塚	

退会(転会)日	退会(転会)者名	備考
2013年10月22日	小島 規似郎	
2014年6月30日	木村 曉美	神戸
2014年6月30日	山崎 泰男	
2014年6月30日	今井 佳代子	
2014年6月30日	酒谷 理加	
2014年6月30日	馬場 一朗	
2014年6月30日	二宅 幸子	
2014年6月30日	森本 通朗	
2014年6月30日	若林 学	
2014年6月30日	山本 博昭	
2014年6月30日	合田 洋子	神戸
2014年6月30日	根岸 理恵	神戸
2014年6月30日	森 統一	神戸
2014年6月30日	堀江 哲次	

(+10名+1名)

5クラブ

ようこそ皆さま、ワイズライフを楽しみましょう

5クラブ

(-14名)

皆様、お疲

各部部长および西日本区EMC主任までご送付ください 為国EMC主任 075-462-7889 mtame@tamekuni.co.jp

お願い!メイクアップを上手に利用して出席率を上げましょう。: クラブ第二例会、事務例会(クラブ行事でその行事が第二例会に承認されたら有効)

区大会(東西)、部会、評議会などに出席した場合、他のクラブの例会(他のクラブの例会に出席したことがありますか?)、

ワイズの例会日にワイズやYMCAの国際行事に参加した場合、()内は退会数を算入した差引実質増加数

1. 今期の実績(会員数)

今期の増員会員数は、前期末145名を受けて4名減少の141名(最高時154名)となった。内訳は増員が10名(+特別メット1名)であったのに対して、減員は増員を上回る14名となりました。増員を図るところが現実には減少になってしまったことはまことに残念です。当初より覚悟していたとはいえ、増員すること以上にドロップを抑制することの厳しさを思い知らされた1年でした。これは取りも直さず、楽しく意義があり魅力的な例会作りが大切であることを物語っています。EMC主査としての力不足を痛感いたします。ご支援をいただいた皆様には感謝申し上げますとともに、その期待に応えられなかったことに対してお詫び申し上げます。

2. 今期の実績(出席率)

今期の出席率は前期の80.2%から微減の79.1%でした。目標の90%を達成出来たのは「西宮クラブ」と「神戸ポートクラブ」の2クラブのみでしたが、増員計画とリンクする部分大きい(裏面グラフ参照)のは、EMCのC(意識高揚)が大切である証左でしょう。今後ともメイクアップの励行にご協力下さい。お仕事の都合などで例会に出席出来ない時もあるでしょう。そんな時は一度、他のクラブの例会も覗いてみましょう。

3. 「EMC意識アンケート」(EMCの「C(意識高揚)」の実態調査)

今期ご協力いただいた「EMC意識アンケート」の中で退会動機では、「多忙」、番目には、「死亡」あるいは「高齢・健康上の理由」が上がっています。私たちは人間である以上いずれはドロップの時を迎えます。ワイズには定年がありません。それまでは元気なワイズメンでありたいものです。高齢で思い出すのはワイズの大先輩である、西宮クラブ最後のチャーターメンバーで90歳で召された川瀬貴誉一メンと、97歳で召された大阪クラブの湯上義一メンです。川瀬メンは前年まで現役でドライバーを務められました。湯上メンはお会いする度に常に笑顔で名刺を頂戴し、私のところには3枚はあるでしょうか。日々常に新鮮なお気持ちでおられたのでしょうか。お二人に共通することはYMCAとワイズが大好きであったことは間違いありませんが、同時に若者も大好きであったことでしょう。目標とする方々でした。

4. 次期に向けて

今期の実績は以上のような結果で終わりましたが、頂戴したアンケートの結果を集計し、次期以降の活動への指針に利用していただきたいと思います。結果には必ず原因があります。因果関係を明確にすることで、今後のワイズの進むべき道が開かれるものと確信いたします。そこにはドロップの抑制や増員へのヒントが隠されているものと思います。



免許皆伝

あなたのお仕事や生活の中で、ワイズのプライオリティー(優先度)を、たった一段だけ上げてみましょう！**秘訣は只ひとつ！あなたの手帳やスマホにワイズのスケジュールを書き込んで、その通り実行することです。**ワイズは、若者には「社会に繋がる開かれたもう一つの窓」です。仕事を卒業したシニアには「明るい老後も社会に繋がる居場所」です。いつまでも社会の一員でいたいものです！窓はいつでも開いています。
- Y's Windows 100(2022) -

- Y's Windows 100(2022) - 構想

今から8年後の2022年にワイズメンズクラブは100周年を迎えます。私たちは100年前に、ポール・ウィリアム・アレキサンダーの志を引継いでいきました。この志はワイズのモットーともなって今にも生き続けています。この間私たちは100個の「窓(Windows)」を開き続けてきました。100周年となる2022年に向けて私たちは私たちの使命を果たし続けていきたいものです。100周年を更に次代に向けた充実した節目としたいと思っています。

この2022年の100周年に一番近くにいるのが、私たち「西日本区」ではないでしょうか。私たちの西日本区のクラブは現在86クラブです。2022年には100クラブが目前です。また西日本区の会員数は約1600名。この8年間で400名増員して、当に2022人を達成したいものです。そこで、私たち西日本区は100周年を祝う2022年には、是非「100クラブ」「2022人」を達成したく、このプロジェクトを立ち上



員を上
抑制す
足を痛

面とリンク
会に出

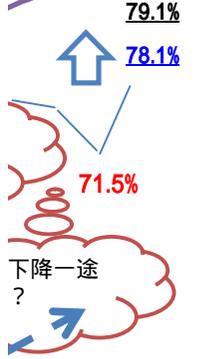
たちは人
も輩で
ライバ
二人

必ず原
いるもの

ステージ
社会に



意見
 前週と
 プラムの盛り
 上がり
 (?)
 月10月の
 パーズンから



当屋クラブ15周
 年度びわこ部会
 00人)→きっか

前半に比べて

より活発
 例会の
 ップを期
 い。

ニドロップを
 ップが発生し
 ま本は「声掛
 愛されるた

の機会
 ま「帰属
 ことから
 M(自ク
 プの分割)